

宇都宮大学 × 群馬大学

共同教育学部の概要

2019年10月31日

1. 共同教育学部設置に向けた検討の経緯と背景

- 経緯**
- 2016年～ 両大学学長による教育学部の連携・協力に関する意見交換
 - 2017年8月 有識者会議報告書（「教員需要の減少期における教員養成・研修機能の強化に向けて」）
教員需要の推移に応じた入学定員の見直しが必要／弱体化する教員養成機能を、県内あるいは県を越えた国公立大学の間で連携・集約することにより、強化を図る方策の検討が必要
 - 9月 共同教育課程（学部）設置に向けた検討に関する学長合意
 - 12月 「教育学部の連携・協力に関する協議会(宇都宮大学・群馬大学)」・同WG設置
 - 2018年 協議会とWGでの協議を重ね、理念・カリキュラム・授業方法等の検討
 - 2019年4月 設置認可申請 2019年9月 設置認可

背景

教員需要減の状況下で第6期には、各大学で入学定員が100名程度となる可能性

現行（2020年度）

宇都宮大学：170名

群馬大学：190名

社会ニーズに応える質の高い教員養成教育を継続して実施し、地域の義務教育課程に責任を持つ体制が必要。特に**中学校10教科の維持**

両大学のスケールメリットを活かした質の高い教員養成の実現

両大学教育学部の共通点・類似点 (共同教育学部を可能にした条件)

- 学生定員
(宇大170, 群大220→190)
- 分野／専攻（両大とも13）と系の構成
- 取得可能な免許
- 県の位置・人口・面積
- 県内出身学生の比率の高さ
- 県の教員採用者中に占める比率の高さ

2. 共同教育学部設置の理念

◎ 両大学教育学部の教育資源を活かした、幅広い専門分野にわたる**専門教育の充実・強化**

スタッフの充実による質が高く幅の広い共同教育
～遠隔メディアによる同時受講～

◎ 両大学の教育資源を活かした、次代の教員としての資質の向上を図る**先進開発教育の実施**

両大学の強みを生かしたForefront科目群
→ Society5.0への対応、SDGsへの貢献

◎ 両大学の協力による計画的な教員配置を通じた**社会のニーズに応える教員養成**

特別支援教育の拡充
→養成領域が5領域に拡大（肢体不自由,視覚障害,知的障害,聴覚障害,病弱。全国で9大学目）

◎ 学生間の交流を通じた、**人間力・コミュニケーション能力の強化**と教職志望意識の向上

2大学学生合同宿泊研修（新設授業）

◎ 実践的指導力を備えた教員の安定した輩出による**地域の学校教育への貢献**

中学校10教科フルセット免許の提供

宇都宮大学



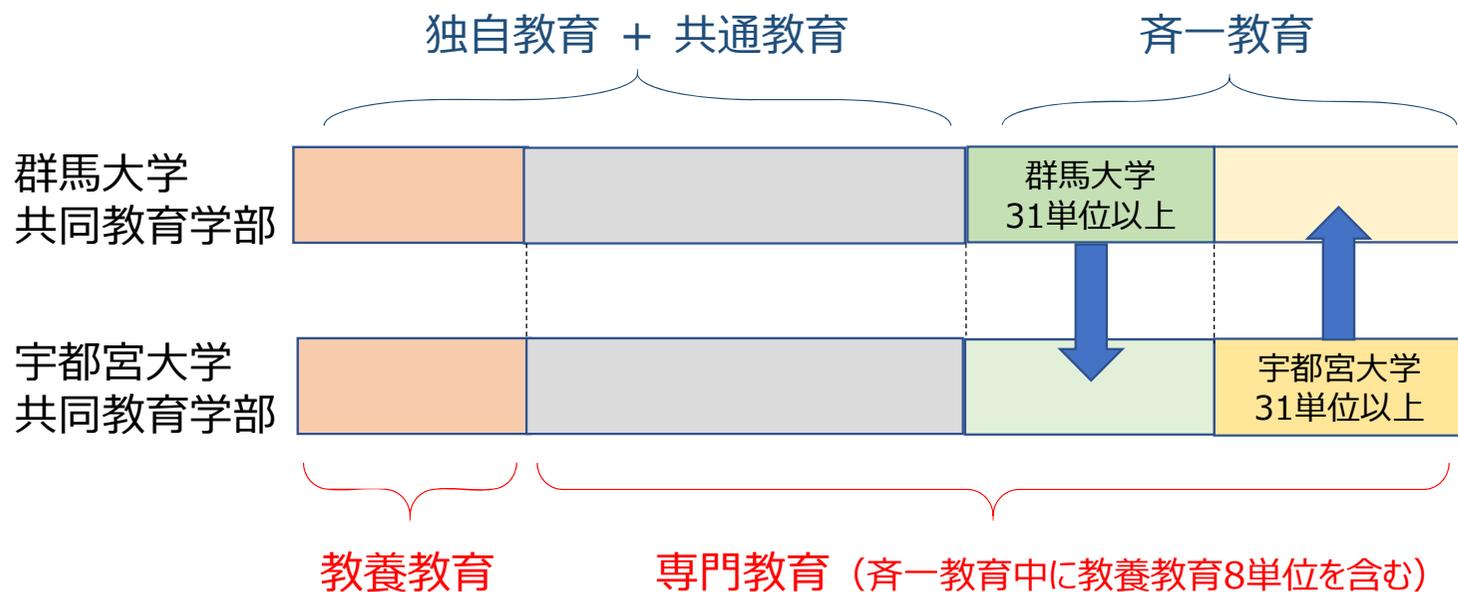
日本初の
共同教育学部誕生へ



群馬大学



3. 共同教育課程による教育学部のイメージ



学生は、他方の大学に行くことなく授業を履修できる。



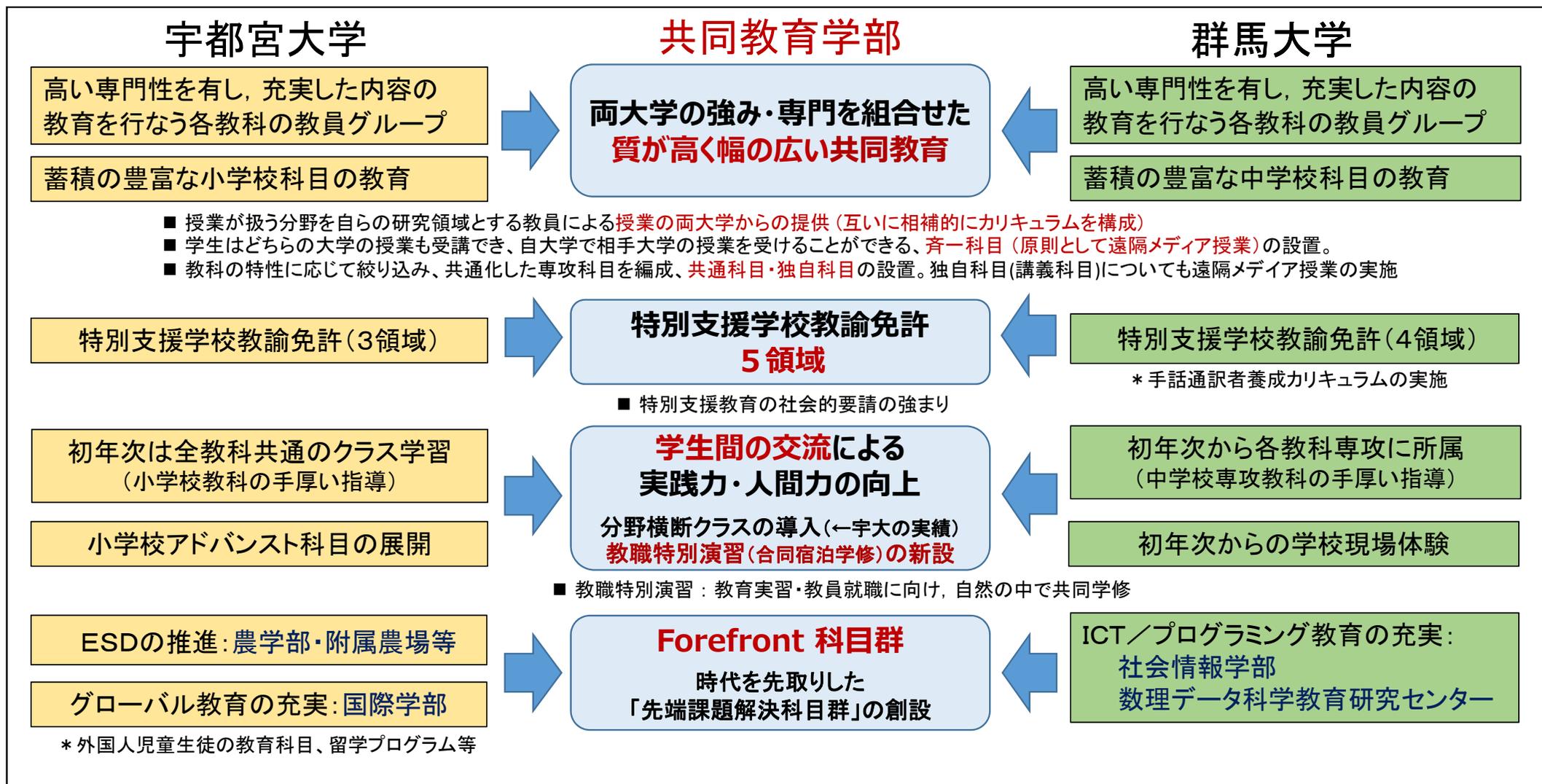
遠隔メディア授業の実施

授業	齊一教育：両大学が相互に提供しあい (互いに31単位以上)、全員が受講する科目
	共通教育：両大学が単位数やシラバスなどを統一させ、それぞれの大学で同一科目名で開講する科目
	独自教育：両大学がそれぞれ独自に開設する科目 (実習・実技・実験など)

教員：いずれかの大学に所属
 学生：いずれかの大学に本籍
 学位：連名の学位を授与

★専任教員数：共同教育学部を一つの教育課程として、全体の収容定員に応じて算定される合計専任教員数を算定する
 → 教職課程認定

4. 両大学の強み・特色を活かした共同教育：シナジー効果と学生のメリット



5. 齊一科目の設定

共同教育課程：各学生が他大学から31単位以上を履修 → 2大学で62単位以上の齊一科目を設定

- 先行例としての獣医学部・獣医学科
6年制, 1学科, 学生定員約30名 × 2
- 教育学部(宇大・群大の場合)
4年制, 13分野/専攻, 学生定員170名 + 190名

メディアを用いた遠隔授業による齊一科目

- 最新の機器 → 授業の双方向性の確保
 - 講義科目は適, 実習・実技・実験は不適, 地域の学校教員を招いての授業は不適
- 例外的に齊一科目で対面授業
例: 中等音楽科指導法

齊一科目だからできること

教員の専門性を活かした授業による学びの深化

- ◆ 教職専門科目
2単位科目を1単位科目 × 2として得意領域を担当
- ◆ 分野/専攻ごとの専門科目
専門領域の授業の相互提供(例: 哲学と倫理学)
- ◆ 小学校教科専門科目(国・社・算・理・家・英)
各教員が得意領域を担当するオムニバス授業

学生の交流による学びの深化

- ◆ 講義科目(遠隔授業)での意見交換
- ◆ 合同宿泊学修「教職特別演習」
- ◆ その他(検討中)
合同ゼミ(メディア/移動して対面)
合同フィールドワーク
メディアを通して模擬授業の相互検討

履修表概要

宇都宮大学群馬大学共同教育学部履修規程概要

科目区分		履修コース												
		各教科			教育/心理				特別支援A			特別支援B		
		履修単位		宇大提供	履修単位		宇大提供	群大提供	履修単位		宇大提供	群大提供	履修単位	
		宇大	群大		宇大	群大			宇大	群大			宇大	群大
基盤教育科目	初期導入科目（新入生セミナー）	2			2			2			2			
	リテラシー科目	8			8			8			8			
	教養教育科目	21	4	4	21	4	4	21	4	4	21	4	4	
	合計	31	4	4	31	4	4	31	4	4	31	4	4	
学部専門教育科目	教職科目	21	10	11	21	10	11	21	10	11	21	10	11	
	小学校教科	16	6	6	16	6	6	12	6	6				
	小学校指導法	20			20			12						
	中学校教科	20			12						12			
	中学校指導法	8	6	6	4	4	4				4	6	6	
	特別支援教育科目							32	7	7	32	7	7	
	分野専門科目	8			18	2	2	4			4			
	卒業研究	4			4			4			4			
	小計	97	22	23	95	22	23	85	23	24	77	23	24	
	教育実習等	事前・事後指導	1	1		1	1		1	1		1	1	
	教育実習Ⅰ/教育実習A	1	5		1	5		1	5		1	5		
	教育実習Ⅱ/教育実習B	3	3		3	3		3			3			
	教育実習Ⅲ	2			2									
	特別支援学校教育実習							3	6		3	6		
	教職ボランティア入門	2			2			2			2			
教職実践演習（教諭）	2	2		2	2		2	2		2	2			
小計	11			11			12	14		12	14			
forefront 科目	10	4	4	10	4	4	10	4	4	10	4	4		
総合教職科目	6	1	1	6	1	1	6	1	1	6	1	1		
学部選択科目				2			11	9		19	17			
小学校アドバンスト科目群														
グローバル関連科目														
専門教育科目合計	124	27	28	124	27	28	124	28	29	124	28	29		
卒業単位	155	31	32	155	31	32	155	32	33	155	32	33		

(注1) 基盤教育科目において相手大学から4単位履修する科目はforefront科目である。

カリキュラム・取得免許を考慮して、4つの履修コースを設定。

教育実習は各大学の現状・独自性を尊重。
単位数のみ調整。

卒業単位

・どのコースも基盤教育31単位，学部専門科目124単位，合計155単位

・どのコースも31単位以上を相手大学に提供

シナジー効果① 互いの強み・専門を組合せた高い質と幅の共同教育

初年次は全教科共通のクラス学習
(小学校教科の手厚い指導)

小学校アドバンスト科目の導入

- ※ アドバンスト小学校英語
- ※ アドバンスト小学校理科実験
- ※ アドバンスト特別支援教育等
(4年次後期に開講)

複数教員指導

学生間の交流による
実践力・人間力の向上

初年次から各教科専攻に所属
(専攻教科の手厚い指導)

初年次からの学校現場体験

宇都宮大学群馬大学共同教育学部履修表（小学校教科及び中学校教科等）

科目区分等		授業科目	開講 単位	履修 単位	授業 形態	開設大学
科目	区分					
小学校教科に関する科目	国語	国語	2	2	講義	宇都宮
	社会	社会	2	2	講義	群馬
	算数	算数	2	2	講義	宇都宮
	理科	理科	2	2	講義	群馬
	家庭	家庭	2	2	講義	宇都宮
	外国語	英語	2	2	講義	群馬
	生活	生活	1	1	実技	宇都宮／群馬
	音楽	音楽	1	1	実技	宇都宮／群馬
	図画工作	図画工作	1	1	実技	宇都宮／群馬
	体育	体育	1	1	実技	宇都宮／群馬
	小学校教科の指導法に関する科目	国語	初等国語科教育法	2	2	講義
社会		初等社会科教育法	2	2	講義	宇都宮／群馬
算数		算数科教育法	2	2	講義	宇都宮／群馬
理科		初等理科教育法	2	2	講義	宇都宮／群馬
生活		生活科教育法	2	2	講義	宇都宮／群馬
音楽		初等音楽科教育法	2	2	講義	宇都宮／群馬
図画工作		図画工作科教育法	2	2	講義	宇都宮／群馬
体育		初等体育科教育法	2	2	講義	宇都宮／群馬
家庭		初等家庭科教育法	2	2	講義	宇都宮／群馬
外国語		初等英語科教育法	2	2	講義	宇都宮／群馬
中学校教科に関する科目	各教科に対応		20		宇都宮／群馬	
中学校教科の指導法に関する科目	各教科に対応	8	8		宇都宮／群馬	
分野専門科目	各教科に対応		8		宇都宮／群馬	
卒業研究	卒業研究	4	4		宇都宮／群馬	



4年次 教育実践
インターンシップ

3年次 教育実習

2年次 授業実践基礎学習

1年次 教育現場体験学習

小学校教科専門に関しては、
宇都宮大学教員の専門性を生かして
両大学連携のもとシラバスを統一し、
斉一科目・共通科目にカリキュラム編成。

小学校教育法に関しては、
宇都宮大学教員の専門性を生かして、
マイクロティーチングのメディア化等、
将来的な遠隔メディア授業への展開を考
慮したカリキュラム編成。

中学校教科の指導法に関しては、
群馬大学教員の専門性を生かして
両大学連携のもとシラバスを統一し、
斉一科目・共通科目にカリキュラム編成。

授業方法に関しては、
マイクロティーチングのメディア化等、
将来的な遠隔メディア授業への展開を考
慮したカリキュラム編成。

事例1

宇都宮大学小学校教科「国語」

1回～3回は、文学教材の基礎(作家・作品・思想)及び**新学習指導要領**での言語文化に関する教育内容を中心に群馬大学へ提供。担当者は日本文学を専門とする研究者。

4回～6回は、文学教材の特質、意義、指導及び**新学習指導要領**に対応した「読書行為と読書生活」等を群馬大学へ提供。担当者は国語教育・日本文学を専門とする研究者。

7回～12回の日本語学の授業内容に関しては、宇都宮大学の教員も監修者として参画。担当者は国語教育・日本文学を専門とする研究者。

2年次開講の「国語科教育法」(「国語科指導法」)への導入科目の性格がある。国語教育については「国語科教育法」(「国語科指導法」)で改めて、詳細な議論をする。

※小学校教科「国語」では、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

共同教育学部の新カリキュラム小学校教科「国語」

	授業内容	領域	担当者		備考	授業形態
			宇大	群大		
第1回	文学教材の基礎①(作家と作品)	日本文学	守安			群大メディア
第2回	文学教材の基礎②(作品と思想)	日本文学	守安			群大メディア
第3回	韻文教材と 言語文化	日本文学	守安		新学習指導要領対応	群大メディア
第4回	文学教材の特質と意義	日本文学/国語教育	鈴木			群大メディア
第5回	文学教材の読解と指導	日本文学/国語教育	鈴木			群大メディア
第6回	読書行為と読書生活	日本文学/国語教育	鈴木		新学習指導要領対応	群大メディア
第7回	言語表現とコミュニケーション	日本語学	鈴木	小林(英)		宇大メディア
第8回	語彙と語彙指導の充実	日本語学	鈴木	小林(英)	新学習指導要領対応	宇大メディア
第9回	敬語、言語生活	日本語学	鈴木	小林(英)		宇大メディア
第10回	文字と表記	日本語学	鈴木	小林(正)		宇大メディア
第11回	単語と文	日本語学	鈴木	小林(正)		宇大メディア
第12回	文法と 適切な言語表現	日本語学	鈴木	小林(正)	新学習指導要領対応	宇大メディア
第13回	書写指導の目的と内容	書写		永由		宇大集中
第14回	書写指導の方法	書写		永由		宇大集中
第15回	伝統文化と書写	書写		永由	新学習指導要領対応	宇大集中

小学校教科専門は、宇都宮大学教員を中心に 両大学の教員5名によるオムニバス形式で実施。

メディアを活用することで、各大学の教員の専門性(強み)をいかし、質の高い教育内容【国語の教育目標、新学習指導要領対応(国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力)した内容】を、両大学の学生に提供する。

群馬大学「初等科国語」

7回～12回は、「言語表現とコミュニケーション」、「文字と表記」及び**新学習指導要領**での「語彙と語彙指導」・「適切な言語表現」に関して「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」の育成等を教育目標に、宇都宮大学へ提供。担当者は日本語学を専門とする研究者。

+ 宇都宮大学国語教育専門教員

13～15回は、文字を正しく整えて書くことができるようにするとともに書写の能力を学習や生活に役立てる(**新学習指導要領**)ことを中心に、宇都宮大学へ提供。担当者は書写を専門とする研究者。

群馬大学は2名(日本語学・書写領域)で担当しているが、**オムニバスにすることで教科内容の充実。**

国語科の領域として、宇都宮大学教員(日本文学・国語教育領域)の専門的内容を統一したシラバスに織り込むことで、学生の国語への理解を深めるとともに、国語についての教養を高めることに貢献。

事例2

宇都宮大学				
授業科目	担当者			
中学校教科	国語学	日本語学概説Ⅰ	澤崎	
		日本語学概説Ⅱ	澤崎	
		日本語学演習Ⅰ	澤崎	
		日本語学演習Ⅱ	澤崎	
	国文学	日本文学概説A	鈴木	
		日本文学演習Ⅱ	守安・鈴木	
		古典講読演習(古文)	澤崎	
		漢文学	漢文学概説	※
		漢文学	古典講読演習(漢文)	※
		書道	書写	※
中等国語科内容構成研究	森田・澤崎			
分野専門科目	日本語史	澤崎		
	日本語講読	澤崎		
	日本文学史(近代)	鈴木		
	日本文学講読A	守安		
	日本文学講読B	※		
	日本文学特講A	鈴木		
	日本文学特講B	守安		
	国語表現法Ⅰ	森田		
国語表現法Ⅱ	森田			
教科教育法	中等国語科教育法Ⅰ	飯田		
	中等国語科教育法Ⅱ	飯田		
	中等国語科教育法Ⅲ	森田		
	中等国語科教育法Ⅳ	森田		



宇都宮大学の強みを生かした科目を

【 斉一科目 】

メディア授業で提供

カリキュラム改革により共通性の高い

【 共通科目 】を新設

シラバスを統一し、両大学で連携して実施

共同教育学部の新カリキュラム **中学校教科: 国語**

授業科目	開講単位	授業形態	開設大学	教員※非常勤講師		備考	
				宇都宮	群馬		
中学校教科科目	日本語学概説A	2	講義	群馬大学	小林英	斉一科目	
	日本語学概説B	2	講義	群馬大学	小林正	斉一科目	
	文章表現	2	講義	宇都宮大学	森田	斉一科目	
	日本文学概説A	2	講義	宇都宮大学	鈴木	斉一科目	
	日本文学概説B	2	講義	宇都宮大学	守安	斉一科目	
	日本語学講読A	2	講義・演習	両大開講	澤崎	小林英	共通科目
	日本語学講読B	2	講義・演習	両大開講	澤崎	小林正	共通科目
	日本文学講読A	2	講義・演習	両大開講	鈴木	※	共通科目
	日本文学講読B	2	講義・演習	両大開講	守安	※	共通科目
	日本文学講読C	2	講義・演習	両大開講	※	藤本	共通科目
漢文学概説	2	講義	宇都宮大学	※	※	共通科目	
書写法	2	演習	群馬大学		永由	斉一科目	
専攻専門科目	日本語学演習A	2	演習	両大開講	澤崎	小林英	共通科目
	日本語学演習B	2	演習	両大開講	澤崎	小林正	共通科目
	日本文学演習A	2	演習	宇都宮大学	鈴木		
	日本文学演習B	2	演習	宇都宮大学	守安		
	日本文学演習C	2	演習	群馬大学		藤本	
	日本文学演習D	2	演習	群馬大学		藤本	
	漢文学演習	2	演習	両大開講	※	※	共通科目
	書写演習A	2	演習	群馬大学		永由	
	書写演習B	2	演習	群馬大学		永由	
	国語教育演習A	2	演習	両大開講	飯田	濱田	共通科目
国語教育演習B	2	演習	両大開講	森田	河内	共通科目	
国語研究演習(集中)	2	演習	群馬大学		全教員		
卒業研究	4	演習	両大開講	全教員	全教員	共通科目	
教科教育法	国語科指導法A	2	講義	両大開講	飯田	濱田	共通科目
	国語科指導法B	2	講義	両大開講	飯田	濱田	共通科目
	国語科指導法C	2	講義	両大開講	森田	河内	共通科目
	国語科指導法D	2	講義	両大開講	森田	河内	共通科目



群馬大学の強みを生かした科目を

【 斉一科目 】

メディア授業で提供

中学校教科教育法は群馬大学教員の専門性を生かし

【 共通科目 】を新設

シラバスを統一し、両大学で連携して実施

群馬大学

授業科目	担当者		
中学校教科	国語学	基礎国語学	小林正
		文章表現	小林正
		音声言語概説	小林英
		日本語学演習(現代)A	小林英
		日本語学演習(現代)B	小林英
		日本語演習集中講義	小林英
		日本語学演習(近世)	小林正
		日本語学演習(中世)	小林正
		日本語学集中講義	小林正
		日本語文法論(現代)	小林英
日本語語彙論(現代)	小林英		
日本語文法論(中古・中世)	小林正		
日本語史概説	小林正		
国文学	基礎国文学	藤本	
	古代文学講義	藤本	
	古代文学講読	藤本	
	古代文学演習集中講義	藤本	
古代文学演習	藤本		
漢文学	漢文学概説	※	
	漢文学演習	※	
書道	書写法A	永由	
	書写法B	永由	
	書写演習A	永由	
	書写演習B	永由	
書写演習集中講義	永由		
教科教育法	国語科指導法Ⅰ	濱田	
	国語科指導法Ⅱ	河内	
	国語教育演習A	濱田	
	国語教育演習B	濱田	
国語教育演習C	河内		
国語教育演習D	河内		

中学校教科指導法等、群馬大学の強みを生かした構成(共通科目)

事例3

宇都宮大学

授業科目		開講単位	担当者
代数学	代数学概論	2	鈴木
	代数学基礎	2	鈴木
	代数学Ⅰ	2	鈴木
	代数学Ⅱ	2	鈴木
	数学研究セミナーBⅠ	2	鈴木
幾何学	幾何学概論	2	北川
	幾何学基礎	2	北川
	位相幾何学基礎	2	北川
	幾何学Ⅰ	2	北川
	幾何学Ⅱ	2	北川
数学研究セミナーAⅠ	2	北川	
解析学	解析学概論	2	酒井
	解析学基礎	2	酒井
	関数論基礎	2	酒井
	解析学Ⅰ	2	酒井
	解析学Ⅱ	2	酒井
	数学研究セミナーAⅡ	2	酒井
	確率論	2	酒井
統計学	統計学	2	川上
	確率論	2	※
コンピュータ	情報基礎	2	※
	離散数学	2	鈴木
卒業研究	5		

宇都宮大学の強みを生かした科目を

【齊一科目】

メディア授業で提供



カリキュラム改革により共通性の高い

【共通科目】を新設

シラバスを統一し、両大学で連携して実施



教科教育法		開講単位	担当者
数学科教育法Ⅰ	2	牧野	
数学科教育法Ⅱ	2	川上	
数学科指導論	2	牧野	
数学科教材論	2	北川	
数学研究セミナーCⅠ	2	牧野	
数学研究セミナーCⅡ	2	川上	

共同教育学部の新カリキュラム 中学校教科:数学

授業科目	開講単位	授業形態	開設大学	教員※非常勤		備考
				宇都宮	群馬	
代数学概論・初等整数論	2	講義	群馬大学	石井		齊一科目
代数学基礎Ⅰ(幾何学基礎・線形代数学Ⅰ)	2	講義	宇都宮大学	鈴木		齊一科目
幾何学概論・集合と論理	2	講義	群馬大学		山本	齊一科目
幾何学基礎Ⅰ(距離の概念)	2	講義	両大開講	北川	山本	共通科目
解析学概論	2	講義	群馬大学		照屋	齊一科目
解析学基礎Ⅰ(微分積分Ⅰ)	2	講義	宇都宮大学	酒井		齊一科目
統計学	2	講義	宇都宮大学	川上		齊一科目
情報基礎・コンピュータ概論	2	講義	両大開講	※	※	共通科目
代数学基礎Ⅱ(線形代数学Ⅱ)	2	講義	両大開講	鈴木	石井	共通科目
幾何学基礎Ⅱ(位相幾何学基礎・位相空間論)	2	講義	両大開講	北川	山本	共通科目
解析学基礎Ⅱ(関数論基礎・微分積分Ⅱ)	2	講義	両大開講	酒井	伊藤	共通科目
確率論	2	講義	両大開講	※	照屋	共通科目
代数学Ⅰ・群論	2	講義	両大開講	鈴木	石井	共通科目
幾何学Ⅰ(平面と空間の幾何学)	2	講義	両大開講	北川	山本	共通科目
解析学Ⅰ・複素関数論	2	講義	両大開講	酒井	伊藤	共通科目
環論	2	講義	群馬大学		石井	
体論	2	講義	群馬大学		石井	
代数学Ⅱ	2	講義	宇都宮大学	鈴木		
幾何学Ⅱ	2	講義	宇都宮大学	北川		
微分方程式	2	講義	群馬大学		照屋	
関数解析学	2	講義	群馬大学		伊藤	
フーリエ解析	2	講義	群馬大学		照屋	
解析学Ⅱ	2	講義	宇都宮大学	酒井		
数学研究セミナーⅠ	2	演習	両大開講	全教員	伊藤他	共通科目
数学研究セミナーⅡ	2	演習	両大開講	全教員	伊藤他	共通科目
卒業研究	4	演習				
教科教育法						
数学科指導法A	2	講義	両大開講	牧野	澤田	共通科目
数学科指導法B	2	講義	両大開講	川上	澤田	共通科目
数学科指導法C	2	講義	両大開講	牧野	澤田	共通科目
数学科指導法D	2	講義	両大開講	北川	澤田	共通科目

群馬大学の強みを生かした科目を

【齊一科目】

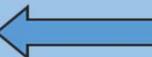
メディア授業で提供



中学校教科教育法は群馬大学教員の専門性を生かし

【共通科目】を新設

シラバスを統一し、両大学で連携して実施



群馬大学

授業科目		開講単位	担当者
代数学	初等整数論	2	※
	線形代数学Ⅰ	2	石井
	群論	2	石井
	線形代数学Ⅱ	2	石井
	代数演習	1	石井
	体論	2	※
幾何学	環論	2	※
	集合と論理	2	山本
	平面と空間の幾何学	2	山本
	距離の概念	2	山本
	位相入門	2	山本
	幾何学統講	2	山本
解析学	微分積分Ⅰ	2	※
	解析学の基礎	2	伊藤
	複素関数論	2	伊藤
	微分積分Ⅱ	2	石井
	関数解析学	2	伊藤
	微分方程式	2	照屋
	フーリエ解析	2	照屋
	数学演習	1	照屋
	解析演習	1	伊藤
	解析学統講	2	伊藤
確率論	2	照屋	
コンピュータ	2	※	
卒業研究	5		

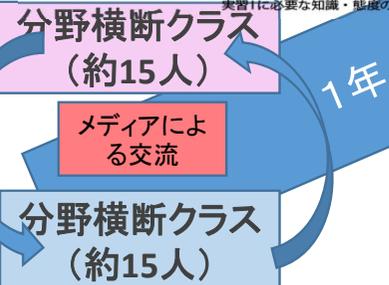
教科教育法		開講単位	担当者
数学科指導法Ⅰ	2	澤田	
数学科指導法ⅡA	2	澤田	
数学科指導法ⅡB	2	澤田	

中学校教科指導法等、群馬大学の強みを生かした構成(共通科目)

シナジー効果② 新規科目「教職特別演習」(必修2単位)

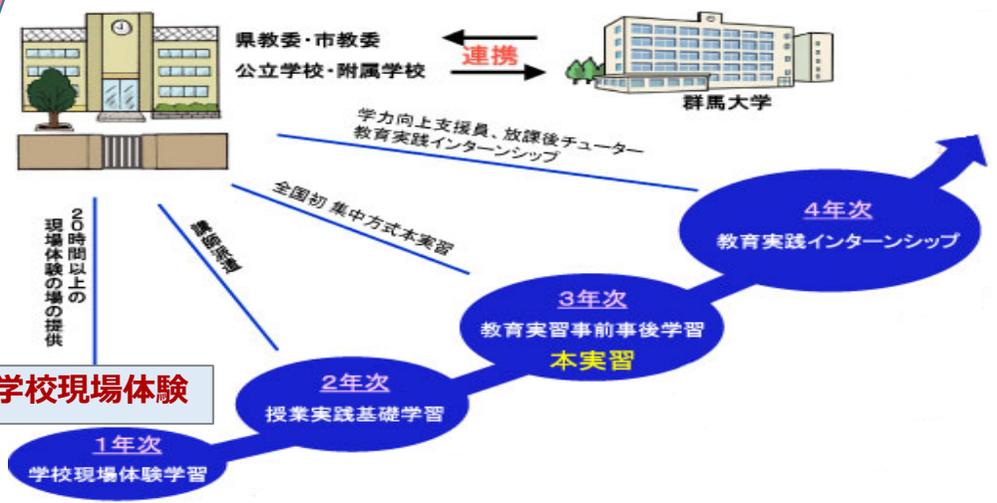
宇都宮大学

小学校教員重点育成施策:
 「分野横断クラス」運営の実績
 ・専攻の壁を越えた人間関係構築
 ・小学校の学級を模した活動体験
 ・学内学習コミュニティの創出
4年間を通じた体系的教育実践科目



群馬大学

- ・分野横断クラス同士の交流による多様な人間関係構築→人間力・協働力育成
- ・教育実習後の自己成長の合同振り返り→高い教職意欲を醸成
- ・小学校「体験活動」現場体験



教員採用試験受験率・合格率向上

シナジー効果③ Forefront科目：時代を先取りした先端課題解決科目群 (両大学の資源を活用)



【必修科目】

ICT/プログラミング教育	「データ・サイエンス入門」/ 「データ・サイエンス」 教養 宇大・群大(2)	「ICT教育の授業設計」 専門 群大提供(2)	「プログラミング教育法」 専門 群大提供(2)	
グローバル教育 ESD (Education for Sustainable Development)	「グローバル化と外国人児童生徒教育」 教養 宇大提供(2) 「ジェンダー論」「防災・安全教育」etc. 教養 群大提供(2)×2	「人権と福祉」 教養 宇大提供(2)	「環境教育」 専門 宇大提供(2) オムニバス	「ESD教育法」 専門 宇大提供(2) オムニバス

【選択科目】

「SDGs総合演習」「国際キャリア教育(合宿)」「International Career Seminar(合宿)」「海外研修in Malaysia」「食と生命のフィールド実践演習(農場実習)」「海外教育施設教育実習」「実践的福祉論(手話通訳養成)」等